

芙蓉の新風



会長ごあいさつ



中村 徹

平成18年は、「地球の未来を予測する英知」と「もったいない精神」を集め、高い志を持って富士山測候所を活用する方法を追求した、NPO法人としての初年度でした。富士山高所科学研究会の準備活動2年に続き、平成19年はNPO法人としての2年目、国有財産法が改正され、気象庁はじめ関係省庁も民間活力を生かす方向です。

そして、気象庁からの公募を受け、6月8日に企画提案書を提出、14日に富士山測候所山頂庁舎の一部貸し付けが正式に決定されました。

とくに、今年は富士山測候所の“活用元年”、あくまでも安全第一を心掛け、世界の見張り番ネットワークを形成する東アジアの拠点として運用、未来に繋がる極地高所科学研究の成果を確保し、地球のために役に立つ活動を続けたいと考えております。

関係される皆様のさらなるご協力とご努力を心からお願い申し上げます。

NPO 法人富士山測候所を活用する会会長 (社)日本観光協会会長

ニュース

- 平成 19 年度第 1 回理事会および第 2 回通常総会開催
5 月 26 日に学士会館（神田）において、平成 19 年度第 1 回理事会および第 2 回通常総会が開催され、平成 18 年度事業報告及び決算の承認、平成 19 年度事業計画及び収支予算、および新任理事として、橋本久美子氏（元内閣総理大臣夫人）、谷垣禎一氏（衆議院議員・前財務大臣）、西垣克氏（静岡県立大学長）、堀口健治氏（早稲田大学副総長）の議案が提案され承認されました。
- 当 NPO への富士山測候所庁舎の一部貸出が 6 月 14 日に決定!
気象庁は、公募による富士山測候所の一部貸し付けを決め、5 月 30 日の公募説明会において 6 月 8 日を期限とした富士山測候所の利用提案書の提出を求めました。当 NPO は 6 月 8 日に土器屋副理事長、渡辺事務局長が気象庁を訪問し、「富士山測候所庁舎の一部貸付企画提案書」を提出しました。
そして 6 月 14 日に当 NPO への貸し出しが決定しました。
- 「世界エコ・サイエンスネットワーク会議」開催
当 NPO 法人と株式会社電通との共催により、世界の高所化学の研究者を一堂に会した国際シンポジウムを、7 月 17 日に電通ホールにて開催します。

活動目的

富士山は、私たち日本人にとって特別な山です。四季折々に変化するその優美な姿は、人々を魅了し続けています。また、富士山は美しいだけでなく、自然観測の場としても大きな役割をもっています。1932 年から山頂での通年気象観測がはじまり、1964 年には富士山レーダーが設置され、台風をはじめとした観測の砦として、数多くの人命や財産を守り、日本の技術者や科学者が誇るべき施設となりました。

ところが、気象衛星の発達などにより山頂での気象観測の必要性は低下したとの判断から 1999 年にレーダー観測が停止され、2004 年に富士山測候所は無人工化されました。

しかし、富士山頂に自然観測施設を設けておくこと自体の価値がなくなったわけではなく、環境科学、天文学、宇宙科学、高所医学、スポーツトレーニング学、地震火山学など、幅広い学問領域においてその活用が期待され、さらには、登山技術の維持向上の場や教育・自然体験活動拠点としての利用も考えられています。

実際にハワイやヨーロッパアルプスなどの高所山岳では、自然科学の観測・研究拠点として、国際的な極地高所観測ネットワークの一部となり、多くの分野で先進的な成果をあげています。

そこで当会は、富士山測候所を、学術研究・教育等の分野において広く開かれた施設として有効に活用することを活動の目的としています。

活用案

●大気化学

富士山は高さ 4000m の「大気観測タワー」です。アジア大陸からの大気汚染物質の輸送状況や、地球温暖化をもたらす二酸化炭素などの物質を観測し、研究します。

●高所医学

平地に比べて気圧がおよそ 60% しかない環境で、高山病について調べ、その予防や健康への効果を研究します。

●天文学

湿度の低い富士山頂は、日本で最高の天体観測地点です。小型の電波望遠鏡によって星間電子雲の研究を行います。

●生態学

永久凍土は、日本列島では富士山頂にしかありません。コケ類を中心とする独特な生態系の調査を通じて、地球温暖化による永久凍土の縮小を実証的に研究します。また、低温環境の微生物についても研究します。

●雪氷学

樹氷中に閉じ込められた大気汚染物質を、電子顕微鏡などを用いて研究します。

●青少年自然体験・教育

富士山を青少年の自然体験や教育の場として広く活用するとともに、情操教育、環境教育、科学教育にも役立てられます。

●登山・トレーニング

高所順応はスポーツトレーニングとして有効です。山頂施設を使用することにより、トレーニングの幅を広げます。

●携帯電話通信

登山者の安全の確保を目的として、富士山での携帯電話の使用を可能とするための通信環境の整備を行います。

これまでの活動のご報告

2005年

11月27日 特定非営利活動法人 富士山測候所を活用する会 設立総会

2006年

3月4日 富士山測候所国際ワークショップ
3月5日 富士山測候所国際シンポジウム
4月28日 特定非営利活動法人認証
5月26日 平成18年度第一回理事会及び通常総会
5月26日 認証記念シンポジウム
6月15日 第1回富士山学校科学講座(年度内計13回開催)
7月15日、16日 富士山測候所見学会
8月12日、13日 富士山測候所見学会
11月22日 富士山プロジェクト国際ワークショップ(協力)
11月23日 富士山プロジェクト国際シンポジウム(協力)
11月23日 平成18年度第二回理事会

2007年

5月25日 平成19年度第一回理事会／第二回通常総会

(学術研究)

- 独立行政法人海洋研究開発機構との共同研究
「富士山頂を利用した越境大気汚染の観測システム構築と観測」
- 日本学術振興会科学研究費基盤C「富士山プロジェクト」への協力
- ICTを利用した富士箱根地域観光活性化研究会への参加

役員のご紹介

2007.6.1現在

会 長	中村 徹 (社)日本観光協会会長)	理 事	笠原三紀夫 (京都大学名誉教授)
副 会 長	松尾 稔 (財)名古屋都市センター理事長)		小林俊夫 (日本登山医学会理事長)
顧 問	岩井國臣 (前参議院議員)		田中文男 (社)日本山岳協会会長)
	塩谷 立 (衆議院議員・元文部科学副大臣)		田中 穰 (株)高等教育総合研究所長)
	石川嘉延 (静岡県知事)		谷垣禎一 (衆議院議員・前財務大臣)
	横内正明 (山梨県知事)		田部井淳子 (登山家)
	長田開蔵 (御殿場市長)		西垣 克 (静岡県立大学長)
	堀内 茂 (富士吉田市長)		橋本久美子 (元内閣総理大臣夫人)
監 事	黒岩秩子 (元参議院議員)		平井信行 (NPO 法人気象キャスターネットワーク代表)
	高橋邦明 (弁護士)		平山善吉 (前社)日本山岳会会長)
理 事 長	浅野勝己 (日本伝統医療科学大学院大学教授)		廣田 勇 (京都大学名誉教授)
副理事長	三浦雄一郎 (プロスキーヤー)		堀口健治 (早稲田大学副総長)
	土器屋由紀子 (江戸川大学教授)		村山貢司 (財)気象業務支援センター)
理 事	荒牧重雄 (山梨県環境科学研究所長)		森 武昭 (神奈川工科大学教授)
	伊藤和明 (元NHK解説委員)		渡辺豊博 (NPO 法人グラウンドワーク三島事務局長)
	今井通子 (医師・登山家)		
	岩坂泰信 (金沢大学サイエンスフロンティア特任教授)		

事務局からのお知らせ

新規会員をご紹介ください！

当NPOでは、会員を募集しております。

会員の皆様には是非新規会員のご紹介をお願いいたします。

お申し込みの際には、ご希望の会員の種類とお名前、ご連絡先(住所・電話・FAX・Eメール等)をお知らせください。事務局より詳細についてのご連絡を差し上げます。

(東京事務所)

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-8-5 麹町 285ビル 4階

TEL 03-3265-8287 FAX 03-3265-8297 Eメール npofuji3776@yahoo.co.jp

	年会費	
	個人	企業・行政
正会員	① 10,000	② 20,000
賛助会員	③ 3,000	④ 10,000

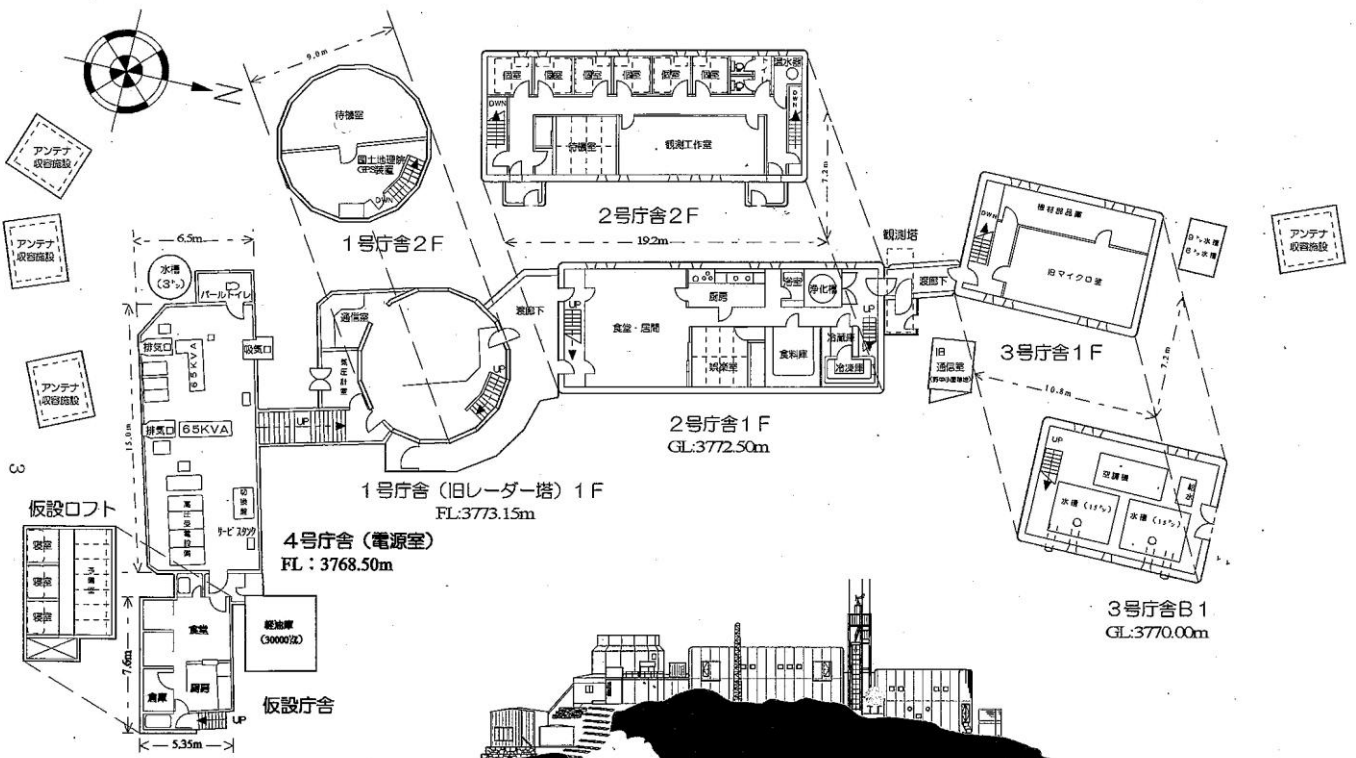
富士山測候所の歩み

- 1817年? 富士山の標高測定 (伊能忠敬)
- 1827年 富士山の標高測定 (二宮敬作、シーボルト)
- 1880年 最初の気圧観測 (東大教授メンデンホール)
- 1889年 本格的な気象観測 (中央気象台中村精男)
- 1895年 越冬気象観測 (野中至夫妻)
- ~1910年 夏季のみの気象観測 (中央气象台)
- 1927年 篤志家による観測所設置 (佐藤順一) 東安河原
三井報恩会の資金援助
- 1932年 第2極年国際協同観測
臨時富士山頂気象観測所
- 1936年 中央气象台富士山頂気象観測所 剣が峰
- 1950年 富士山測候所
- 1964年 気象レーダー設置
- 1999年 レーダー運用廃止
- 2001年 レーダードーム撤去
- 2004年秋 山頂測候所無人化
- 2007年7月 NPO法人富士山測候所を活用する会による管理開始



出典 : <http://www4.big.or.jp/~naomy/>

富士山測候所



縮小立面図

富士山測候所 3776m 35° 21' N 138° 44' E